

岡本眸の夏の句

耳に髪はさみ働く立葵
露涼し気ままに椅子の数使ひ
曇天のまん中たるむ独活の花
遠き夜蟬頭を振つて消す思ひごと
夜を徹す百合の香にあり書き継げり

松岡隆子 抽